



さかえ

栄小学校

所在地 〒556-0025

大阪市浪速区浪速東 1-1-61

電話 06-6568-5855

FAX 06-6568-6550

校長名 岸本 昌悟



校長先生からのメッセージ

1872年、学制發布を前に、徳浄寺内に誕生した栄小学校は、社会が大きく変化する中、150年以上も地域のみなさんの「子どもの教育は地域の力で」という強い思いと、歴史と伝統がたくさん継承されてきた素敵な学校です。特筆すべきは、校舎を建てるため、地域のみなさんがお金を積み立ててくださったことです。地域のみなさんの思いがこめられた当時の校舎は、日本三校の一つと言われたそうです。深い思いと、歴史、伝統が脈々と受け継がれ、今の第5期の校舎になります。その伝統を重んじ、学校では自分や友達を大切に、地域のひととのつながりも大切に子どもたちの育成につとめ、明るく元気いっぱい、笑顔の素敵なやさしい子どもたちの姿があふれるように、日々取り組みを進めています。

本校では、一年間の中で各学年が体験的な活動を取り入れることができるようにしています。多様な体験を通して、得られた発見や気づき・考えを確実にし、友だちと共有・対話することで、自分の考えをさらに広げ、学んでいくことを大切にしています。子どもたち一人ひとりが存分に力を発揮できるよう、教職員一同、力を尽くしてまいります。



運営に関する計画（概要）

【安全・安心な教育の推進】

小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を96%以上にする。
今年度末の本校児童アンケートにおいて、「自分には良いところがあると思う」の項目について肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上向上させる。
小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の90%以上にする。
小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

※本校は調査対象学年が単学級であるため、大阪市教育局の方針に基づき、平均正答率及び平均値の結果は公表していません。

● 令和6年度調査結果の概要 ● 取組みの成果と課題、アクションプラン

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要と今後の方策

- ◆国語では「話し言葉と書き言葉との違いに気付く」「資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように工夫する」設問において、全国平均との差がほとんどなかった。一方で「目的や意図に応じて伝えあったり、内容を検討したりする」設問では、全国平均との差が大きかった。これらの結果から、児童が自ら進んで考える「主体的な学び」については一定の成果が見られるが、考えを共有して協働的に学ぶ「対話的な学び」については、課題が見られる。ICT機器や協働学習支援ツールの活用を図り、引き続き主体的・対話的で深い学びの実現をめざして、取組を継続していく必要がある。
- ◆算数では知識・技能を問う設問よりも、思考・判断・表現を問う設問において、全国平均との差が大きかった。本校が独自に推進するザクザクタイムの成果として、基礎的・基本的な知識が身に付いている。しかし「直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積」を求める設問や、「折れ線グラフから読み取ったことを記述する」設問では、無回答率が2割強に上った。問題を解決する力だけでなく、解決方法を様々な表現し合う力を育成することが大切である。
- ◆自己肯定感に関する質問「自分には、よいところがあると思いますか」や「将来の夢や目標を持っていますか」に肯定的に答える児童の割合は80%弱で、全国より低くなっている。一方で「人が困っているときは、進んで助けていますか」や「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」では90%以上の児童が肯定的に回答し、全国を上回っている。本校の推進する人権教育や、SDGsの視点と関連づける取組の成果であると考えられる。また、たてわり班活動や異学年交流等の取組も積極的に推進している。地域との連携を図った教科・領域の学習について横断的に取り組み、カリキュラム・マネジメントも進めている。今後も継続的に取り組むことで、自己肯定感の向上に努めていく必要がある。

全国体力・運動能力、運動習慣調査等の結果から明らかになった現状

※本校は調査対象学年が単学級であるため、大阪市教育局の方針に基づき、平均正答率及び平均値の結果は公表していません。

● 令和6年度調査結果の概要 ● 本校の取組みの成果と課題、アクションプラン

- ◆本校の体力合計点は、男子は大阪市平均、女子は全国平均を上回っている。
- ◆本校の男女ともに特に課題となるのが、20mシャトルランである。
- ◆50m走においては、男女ともに特に良好な状態にある。
- ◆「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対しても、男女ともに100%の児童が肯定的な回答をしている。

【本校の取組および成果と課題】

- ◆毎年、運動委員会によるかけあし月間や大縄大会を設定し、体力向上を図っている。また、運動場になわとびジャンプ台を設置したり、教職員が児童と一緒に体を動かしたりしたことで、運動場で遊ぶ児童が増えている。「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答状況では、男女ともに肯定的な回答が100%に達したことから、児童の意識が高まっていることがわかる。また、「運動は大切な」の質問においても、男女ともに肯定的な回答が9割を超え、体を動かすことの大切さを理解できている児童が多い。
- 一方で、長座体前屈や20mシャトルランは男女ともに課題がある。柔軟性や持久力を高める運動を、今後取り入れていく必要がある。各運動週間や強調週間において、「がんばりカード」を活用するなど、児童のがんばりを可視化しながら取組を推進してきた。遊びの要素を多く取り入れて体を動かす楽しさを味わわせたり、縦割り班活動や運動集会の内容を充実したりしながら、児童が体を動かす喜びや楽しさを感じられるよう、今後も取組を強化していく。



○ 栄小学校 創立153周年

本校は、明治5(1872)年に創立した歴史ある小学校です。創立後、地域のみなさんが3年かかって積み立て、地域のみなさんの力で、レンガづくりの立派な校舎を1875年に竣工させました。本校舎は、その150年超の伝統と歴史を脈々と受け継ぎ、平成26年1月に移転した第5期の校舎です。



○ ICTを活用した「情報活用能力」の育成

学校情報化優良校として、学習者用1人1台端末を活用した「ICT教育」を推進し、情報活用能力の育成を図っています。個別最適な学びの実現に向け、ICT機器を活用した学習のあり方を広げていきます。



○ 交流学习やたてわり活動

異学年での交流学习や全学年でのたてわり活動の取組の強化により、お互いに認め合う人権教育を推進しています。



○ SDGsの視点を学習に

持続可能な社会の実現に向けた「総合的な学習の時間」などの取組のもとに、自らの生き方を考えるための資質・能力を育成します。



○ 安全に関わる取組

「地域連合町会」「防犯協会」「保護者」「学校」が連携することにより、多くの方々に見守られながら、居住区ごとに10数班に分かれて、集団登校が毎日、安全に行われています。地域・保護者のみなさまによって子どもたちの安全や安心が大切にされています。

毎週水曜日の下校時にも、地域の方に見守っていただいています。その他にも防災・減災教育にも取り組んでいます。

